

東松山市立市民病院広報誌

市民病院ニュース

News from City Hospital

2013年10月1日 発行

Higashimatsuyama Municipal Hospital
東松山市立市民病院

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山2392番地
TEL:0493-24-6111 FAX:0493-22-0887

創刊号



Contents

特集 創刊記念座談会 in 市民病院	P2
各科からのお知らせ(看護部)	P4
各科からのお知らせ(栄養科・人間ドック健診室・サービス向上委員会)	P5
市民病院の経営改善状況と新たな取り組み	P6
外来担当医表	P8

<http://hmy-municipalhosp.jp/>

創刊記念座談会



in 市民病院

9月2日(月)午後4時、森田市長を迎えての座談会がスタート!

市民病院からは、医局長の栗野医師のほか、昨年4月以降、新たに市民病院に着任した6人の働き盛り、あるいは若手のドクターが出席し、森田市長を囲んで市民病院の現状とこれからについて、率直にそして時に熱く語り合っていました。

出席者

市長	森田 光一
脳神経外科	栗野 貴志
外科	石塚 直樹
	岡田 典倫
整形外科	清水 学
	小山 公行
泌尿器科	長谷川 了
眼科	大西 貴子

◆ 最近の状況

市長 ここにお集まりの皆さんをはじめ、医師の方々に頑張ってもらっているおかげで、最近、市民の皆さんから「市民病院が変わった!」「良くなった!」というお話をいただくようになりました。経営的にも昨年10月から好転し、「V字回復」することができました。

長谷川 これまでは、医師が減る、ベッド数が減るといった右肩下がりの流れが続いていたようですが、昨年世代交代が進んだことで、新しい手術に取り組んだり、自ら当直勤務を買って出て、救急患者も積極的に受け入れるなど、医師の間に活気が出てきました。また、売店を地下から1階へ移転したことや、外来の待合室に情報提供用の大型モニターをつけたりしたこと、院内の雰囲気も良くなってきましたね。

清水 でも、診察室で患者さんが座る丸椅子が、20年くらい前?の古いものだったりもしますけど。

市長 どうしても「使えるうちは使う」というのが役所の発想です。まだまだ、お客様本位、病院で言えば患者さん本位で考え、より良くしていこうという姿勢が徹底できていないのかもしれないね。

(注:椅子は9月中に新しいものに取り替えました)

清水 以前、患者さんが待合室で食事をとられているのを見て、申し訳ない感じがありました。現在、地下の奥まったところに休憩室がありますが、患者さんやご家族、そして職員がくつろげる場所には程遠い環境です。来年から本館の建て替えがはじまるので、高台にある見晴らしの良さを活かして、そうした場所が設けられたら良いと思います。

◆ 市民病院の強み

栗野 市民病院の強みってどんなところでしょうか?



清水 ご高齢の方には市民病院だったら大丈夫といって来られる方も多いです。市が全面的にバックアップしているところも安心感につながっているのではないのでしょうか。

長谷川 医師にとっても、必要な機材などは直ぐに用意してもらえますし、泌尿器科のある病院は近くには少ないので、患者さんも多く、症例も豊富で経験もつめる病院だと思います。

大西 高齢の患者さんには、眼科の手術を日帰りではなく、入院して受けたいという方も多いため、その意味では市民病院の役割は重要だと思います。

❖ 医師・スタッフの確保

市長 今、外科系の先生方が中心となって手術や救急にも意欲的に取り組んでいただいていますので、後は内科の先生が増えればということですが、これがなかなか難しいです。昨年から何度も何度も大学病院にお願いに通っているのですが、「市長どこか悪いのですか?」と周りに聞かれるくらいです(笑)

岡田 特に内科の場合、循環器とか消化器とかいう具合に細分化されたため、余計に医師が足りなくなった面があります。それぞれの診療科でもっと頑張っていて、実績を上げることで、病院全体を底上げし、若い医師が専門性を高められるような施設になっていかないとなかなか集まらないと思います。

清水 循環器や人工透析の医師が増えれば、外科系の診療科ももっと充実できると思います。



石塚 病院内に保育所を設ければ、女性の医師や看護師なども増えるのではないのでしょうか。

長谷川 看護師の年齢も全体的に高くなってきていますので、若い人を採用して新陳代謝を図ることが必要です。

岡田 基本的に看護師の数が足りないと思います。また、新人が入れば、活気が出ますし、教育する側も学ぶことになり、全体のレベルアップにもつながります。

長谷川 新しい医療に積極的に取り組まなければ、やる気のある看護師が流出してしまうという点では、我々医師の責任でもありますね。

石塚 看護師の確保には、給与などの待遇面だけでなく、環境面の整備も大事だと思います。

長谷川 事務職についても、どういう施設を設け、人を配置し、どんな診療をすれば収入につながるか、医療制度や診療請求についてのエキスパートが必要ですよ。

大西 書類の作成や保険などについても精通したスタッフがいたら医師も患者さんも心強いです。



❖ これからの役割

市長 ここからは、これから市民病院は地域でどんな役割を果たしていくべきか、みなさんのお考えを伺いたいですね。

清水 急性期の患者さんを対象としてもっと頑張るか、それとも急性期は今くらいにして、療養型の病床を設けるかの選択だと思います。

石塚 療養型の病床を設けた方が良いと思います。ある程度治療が済んだ患者さんの受け皿が市内には少ないですから。

清水 療養型の方が限られた医師を有効活用することができ、経営上も有利です。

石塚 訪問看護のようなこともこれからは取り組むことが必要です。

市長 病院ではなく、自宅で看とるとというのが、これからの流れですね。

栗野 地域の中で急性期から在宅までのネットワークが整備されるのが理想ですね。

市長 その意味では、総合福祉エリアや医師会との連携もこれからの課題です。

清水 我々医師にしろ、事務の人にしろ、ローテーションで市民病院に勤務している存在ですが、そのうち何人が、市民病院を「自分の病院」としてこだわりを持ち、職場を愛し、良くしようという気概を持つことができるかにかかっていると思います。(熱い!!)

市長 市民病院の最高責任者として、患者さんはもちろん、先生方にも来て良かったと感じていただけるような病院にしていきたいです。そして、比企地域の地域医療を支え、充実していく上で、リーダーシップを発揮していきたいです。先生方、これからもよろしくお願ひします、ありがとうございました。

(注) 整形外科の小山医師は、座談会中に受け入れた救急患者に対応するため、何度も中座しなければならなかったことから、発言ができなかったものです。



看護部は 院外活動も 頑張っています!

総合防災訓練に参加しました(8月31日)

その他
にも

- ・日本スリーデーマーチの救護
- ・駅伝競走大会の救護
- ・きらめき出前講座
なども行っています。

市民病院では、看護学生の実習、中学生社会体験チャレンジ、職場体験学習など数多くの実習や体験学習も受け入れ、それらを通して私達も学ばせていただいています!!



WLB【ワークライフバランス】を 考慮した取り組み

母親となり、職場に復帰してくれる仲間もたくさんいます!現在、6人の看護師が育児短時間・部分休業を取りながら、勤務しています。

育児休暇から復帰した看護師の声

現在、部分休業勤務制度を利用しながら、2児の子育てと仕事の両立で毎日大忙しの日々ですが、周りのスタッフのサポートのおかげで、育児への時間が増え、とても働きやすい環境だと思えます。

研修にも取り組んでいます!

- ・看護研究への取り組み
- ・自治体病院研修
- ・患者サポート体制研修
- ・臨床指導者実習
- ・看護協会への研修
- ・認定看護管理者ファーストレベル・セカンドレベル
- ・その他、院内研修の充実

臨床指導者実習を終えて(病棟看護科 山田看護師)

約3か月間の実習を通して、実習指導者としての役割や心がけなど多くの学びを得ることができ、自分自身の看護観を見つめ直す機会にもなりました。実習生の環境や立場を理解できたことは、臨床の場でもとても役に立っています。

現在、看護師を
募集中です!
詳しくは、市民病院
公式ホームページ、
または市広報誌で!!

きらめき出前講座って?

市民の皆様のリクエストにより、看護師を講師として派遣しています。

内容

糖尿病について:CDE糖尿病療養指導士(講演回数 4月から5回)
緩和ケアとは:認定看護師

ユニフォームが新しくなりました!

今年度、看護師のユニフォームを一新しました。伸縮性があり、動きやすく通気性もgoodです!患者さんのケアもしやすいです。



資格も積極的に取得しています!

- ・医療安全管理者研修
- ・院内感染対策講習
- ・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡技師認定証
- ・褥瘡対策ビギナーコース
- ・災害支援ナース
- ・医師事務作業補助者コース修了
- ・介護職員等喀痰吸引実施の為の指導者研修

今年も色々な資格取得を目指し、頑張っています!



糖尿病教室にご参加ください! (栄養科より)

生活習慣病の一つである糖尿病は、日本人の成人10人に1人が該当すると言われています。糖尿病は、放置したり、治療が不十分だったりすると、様々な合併症(脳梗塞・心筋梗塞・網膜症・神経障害・腎症など)を引き起こす病気です。また、高血圧や脂質異常症、腎臓病のある人が糖尿病になると、それらの症状をさらに悪化させます。

市民病院では「糖尿病教室」を月に4回開催し、当院の糖尿病専門医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士が分担して、糖尿病患者さんの教育・指導などを行っています。受講は、どなたでもできますので、お気軽にご参加ください。参加費は無料です!

開催は毎回金曜日午後3時30分からです



日 程	講 師
第1週	糖尿病専門医・薬剤師
第2週	管理栄養士・理学療法士
第3週	管理栄養士
第4週	看護師・臨床検査技師

お問い合わせは栄養科(TEL 24-6111 内線172)まで

人間ドックを受けましょう! (人間ドック健診室より)

人間ドックは通常の基本健康診査や一般健診と比べて検査項目が多く、より細部にわたって健康状態のチェックができます。病気の予防・早期発見のために、定期的にご自分の健康状態を確認することをお勧めします。

当院の人間ドックは、腫瘍関連検査(腫瘍マーカー)項目のCEA(消化器)、PSA(男性=前立腺)、CA125(女性=卵巣)、AFP(肝臓)をはじめ、甲状腺機能検査(TSH、FreeT4)、C型肝炎検査(HBs抗原、HCV抗体)が基本項目に含まれ、充実した内容となっています。

また、X線検査については放射線科医師、健診担当医師によるダブルチェックを実施するなど、検査の内容と信頼性を最優先していますので、ぜひ一度、当院の人間ドックをご利用ください。検査料金には、各自治体や勤務先などから助成金が出る場合もあります。

お住まいの市町村、勤務先にお問い合わせください。



みなさまのお越しをお待ちしております!!

人間ドックの詳細については人間ドック健診室
(TEL 24-6111 内線231・232)までお問い合わせください

院内コンサートを行っています♪♪ (サービス向上委員会より)



須賀原副院長と音楽クラブのメンバー

市民病院では、患者さんや病院を利用する方に安らぎと憩いのひと時をお届けするため、定期的に院内でコンサートを開催しています。

7月には、市民病院1階エントランスホールで“七夕コンサート”を開催したところ、多くの患者さんのほかケーブルテレビ、新聞社などのメディアも取材に訪れ、大変賑やかなコンサートとなりました。

須賀原副院長率いる市民病院音楽クラブの合唱に、小児科の鈴木先生もクラリネットで加わり、普段見ることのない医師や看護師たちの意外な一面に、患者さんたちからもたくさんの笑みがこぼれました。

また、今回はボサノバギタリスト・木村純さんのゲスト出演もあり、夏にピッタリの涼しげな音色を奏でいただきました♪

次回は、秋のミニコンサートを10月23日(水)午後3時から開催予定です。12月にはクリスマスコンサートも予定しています。コンサートはどなたでもご覧になれますので、ぜひお越しください!!

市民病院の 経営改善状況と 新たな取り組み



◆ 入院・外来の患者数、救急患者の受入件数、診療収入が軒並み好転しています！

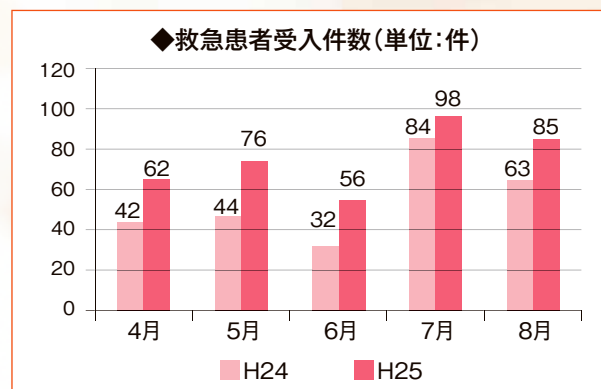
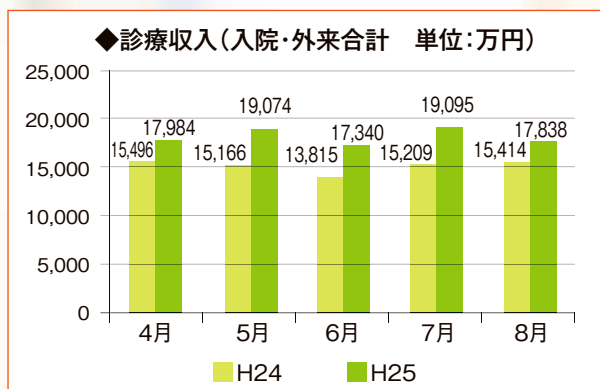
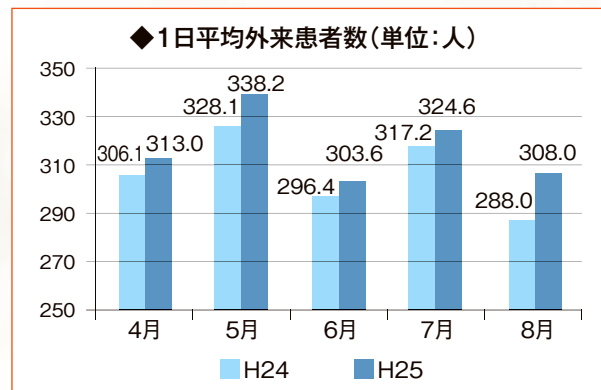
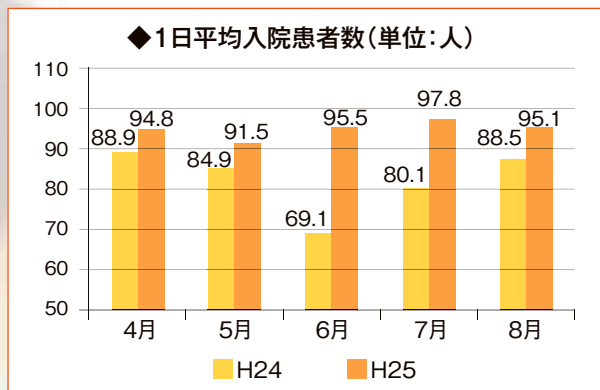
P2～3の特集記事でもご紹介したように、30代、40代の働き盛りの医師に世代交代が進み、そのことが患者さんに浸透した昨年10月以降は、患者数、収益共に好転し、救急患者の受入件数も大幅に増加しています。

また、新たな医師の確保のため、市長が先頭に立って、関連の大学病院を20回以上訪問し、院長はもとより、それぞれの診療科の教授とのコミュニケーションに努めながら、1年を通して招聘活動を行いました。

その甲斐あって、今年度は、今まで医師1人だった外科と泌尿器科がそれぞれ2人体制に充実し、第2、第4土曜日の外来診療も新たにスタートすることができました。

さらに、医師の平均年齢が若くなり、増員も図られたことにより、これまで一部を外部の医師にお願いしていた平日夜間の当直のほとんどを市民病院の医師が担当するようになり、昼間手術をした患者さんの状態を見守りながら、救急搬送などに対しても可能な限り積極的な対応を心がけています。

平成24年度と平成25年度の比較(4月～8月の5か月間)



❖ 設備の充実を進めています!

昨年度は最新鋭のMRI(磁気共鳴断層診断装置)を導入しました。従来の装置に比べ、身体をくぐらせる部分の間口が広くなり、圧迫感をあまり感じないほか、撮影時の音も小さくなり、患者さんへの負担がかなり少なくなりました。

また、検査や注射などの予約のほか、レントゲンやCTなどで撮影した画像の管理をコンピュータ化し、正確で迅速な患者サービスにつなげています。

今年度は、年内の稼働を目指し、電子カルテの導入準備を進めています。



❖ 院内の環境整備を進めています!

来院される方が利用しやすいように、従来地下1階にあった売店を1階に移しました。

また、外来でお待ちいただく間、最新の検査や治療、健康に関する情報などを分かりやすく紹介する大型モニターを5台設置しました。



❖ 患者さんとのコミュニケーションに努めています!

患者さんやご家族からいただいたご意見などについては、個人情報に配慮しながら、病院からの回答とともに掲示しています。もちろん、いただいたご意見は可能な限り現場に活かしています。今年度から装いも新たにしたホームページにはフェイスブックも取り入れ、身近な話題を双方向でやり取りしています。



❖ Change ↑ 心を一つに!

病院では医師や看護師をはじめ、多くの職種の人と一緒に働いています。また、パート職員のほか、受付や給食の提供、施設の管理などには、委託先の会社の従業員があたっています。

今年度は、「Change ↑ 心を一つに!」を合言葉に、窓口を担当するスタッフの合同接遇研修や、医師や看護師、医療技術者など幅広い職種が終業後に集まり、気楽にまじめに意見交換を行う「オフサイトミーティング」などを開催し、市民病院で働く全てのスタッフが一丸となって、さらなる改善向上を目指す取り組みを進めています。

外来担当医表

市民病院では、平日の午後・土曜日の午前も診療を行っています!

2013年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	代診医		鈴木	鈴木		当番医
			須賀原	須賀原		須賀原	
		八木	八木			八木	
		朱	朱			朱	
		樺沢	山本	山口	樺沢		
				姜			
	午後 (1:30~)	代診医	山本	当番医	樺沢	当番医	
外科	午前	岡田	石塚	石塚	岡田	石塚	当番医 (第2・4週のみ)
			額 額	榎本	田中		
整形外科	午前	清水	清水		清水	清水	当番医
		岡村		岡村		岡村	
				山崎	根岸		
脳神経外科	午前	白田	白田	白田			当番医
				栗野	栗野	栗野	
	午後 (13:30~)			当番医			
小児科	午前	鈴木	鈴木	鈴木	休診	鈴木	鈴木 (初診・急患のみ)
	午後 (2:00~)	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	
皮膚科	午前	休診	休診	麻生	休診	河辺	休診
眼科	午前	大西	大西	大西	大西	大西	大西 (第4週のみ)
	午後	予約検査	予約検査		予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科	午前	小川	小川	小川	小川	小川	休診
				林			
	午後 (1:30~)	小川	小川	小川			
泌尿器科	午前	平野	平野		平野	平野	平野 (第2・4週のみ)
		長谷川		杉本	長谷川	長谷川	
	午後 (1:30~)	平野			長谷川	初診のみ	

※午前診療の受付時間は8:30からです。

特殊専門外来

当院では通常の外来診療に加え、特殊専門外来も行っています。

特殊専門外来は事前の予約が必要な場合がありますので、お電話等でご確認ください。

◇ リウマチ専門外来(整形外科)

毎週月・火曜日 受付 午後1:00~3:00

リウマチ専用エコー(超音波診断装置)や生物化学製剤などによる診断・治療など

◇ 脊椎外来(整形外科)

毎週水曜日 受付 午前8:30~11:00

圧迫骨折、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、頸椎症など

◇ スポーツ外来(整形外科)

毎週木曜日 受付 午前8:30~11:00

テニス肘、野球肩、平泳ぎ膝、突き指、捻挫のほか、靭帯や半月板の損傷、脱臼など

◇ 小児泌尿器・おねしょ外来(泌尿器科)

第1・3水曜日 受付 午後1:30~3:00

小児を対象とした停留精巣、陰嚢水腫、夜尿症、包茎など

その他、在宅酸素療法、ペースメーカー、補聴器外来などの専門外来も行っています。お気軽にお問い合わせください。